

芦屋女短大 谷川 寿枝

1. 過年度は、旧・中・新石器文化を世界に求めて回想して参りましたが、本年は世界最古の土器が作られたともいわれる我が縄文時代に焦点を当ててみました。アメリカのE・モース氏が汽車の窓から大森貝塚を発見し、その中にあった土器を Cord marked pottery と名付けてより、我国各地には関東ローム層下のプレ縄文石器まで発見され、多くの考古学者により古代の編年が着々となされ、又今後益々明らかにされて行く事でしょう。その草創期の實用より発足した単純な押捺文・撚糸文の尖底土器より複雑極まる中期の火炎土器、晩期の洗練された摺消文へと狩猟生活の中に古代人のすばらしい創造力はその作品に立派に現わされました。その時代を私なりの手技により振り返って見ました。

2. 洞爺湖大島の入江貝塚を始め、東京・群馬・神奈川・静岡・長野・愛知・大分・長崎等、先縄文・縄文遺跡の現在を行脚した後、当時代の感覚を何とか模したいものと刺繍・トリミング・木彫等により、風呂敷屏風・ハンドバッグ・ブラウス・トッパー・ペンダント等を作って見ました。

3. 狩猟生活と現代生活は余りに隔り過ぎて、始めはどうなる事かと案じましたが、その幼稚な表現の中に在る遠い民族の祖の感覚はまことになつかしく、楽しい工作を続ける事が出来ました。